

- 堺モビリティ イノベーション プロジェクト -

GRAND DESIGN

堺が育んできた文化と、スマートグリッド化された新・路面交通システムとの融合により、
21世紀へ順応する新たな都市空間が完成する。

VISION クールシティ堺

モビリティイノベーション
GRAND DESIGN

堺が育んできた文化と、スマートグリッド化された新・路面交通システムとの融合により、21世紀へ順応する新たな都市空間が完成する。

“堺 モビリティイノベーション” 推進計画案

① 大通り緑化にぎわい計画

- ・ 大道筋緑化公園計画 … 1-2
- ・ 大道筋×大小路筋 活性化計画 … 1-3
- ・ 堺文化村ミュージアム計画 … 1-4

② 路面交通システム再構成計画

- ・ 人と地球に優しい、路面交通システム … 1-5

③ 既存のサイクルシェア計画からの進化

④ 自動車規制に伴う道路整備計画

- ・ サイクルシェア進化の具体的プラン … 1-7

⑤ 自動車規制に伴う駐車場整備計画

- ・ スマート化に対応した具体的プラン … 1-8

⑥ 世界遺産化に伴う、 百舌鳥古墳群・大規模整備計画

⑦ 国際観光都市基盤整備計画

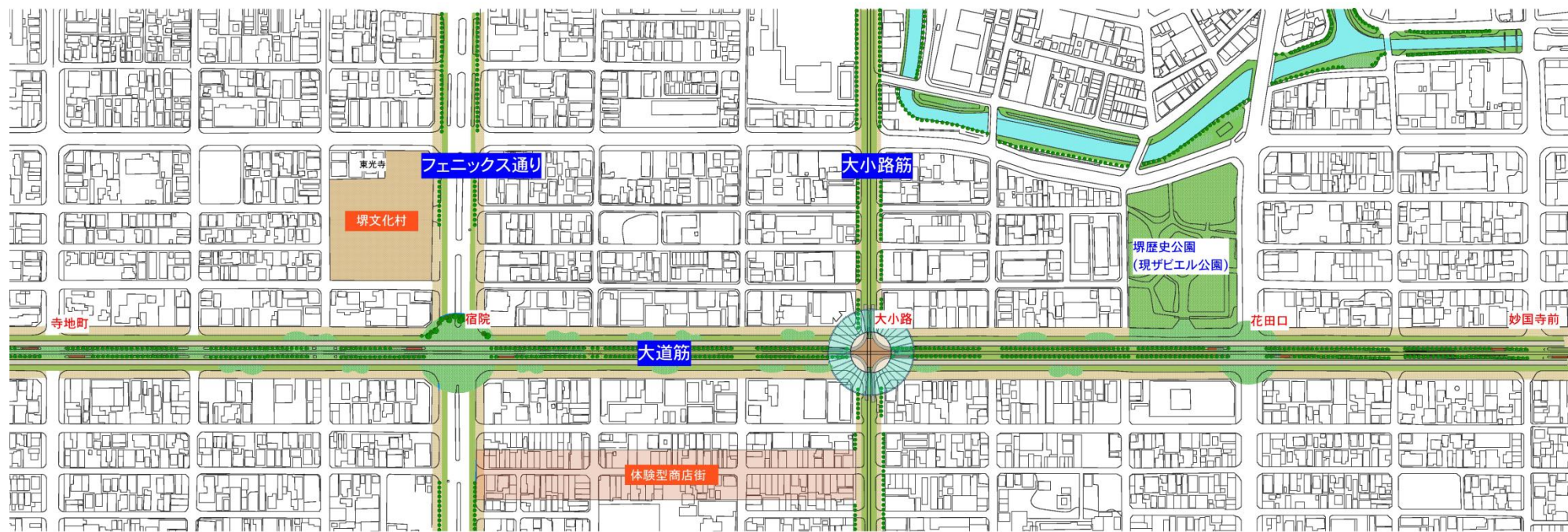
- ・ 仁徳天皇陵 GRAND DESIGN
～古墳群を可視化する～ … 1-9



① 大通り緑化にぎわい計画

大道筋公園緑化計画

都市に新たな機能を組み込むことにより堺市の再生を図る。
堺に連続と受け継がれた歴史と文化を学び継ぐための
公園、施設を提案する。



① 大通り緑化にぎわい計画

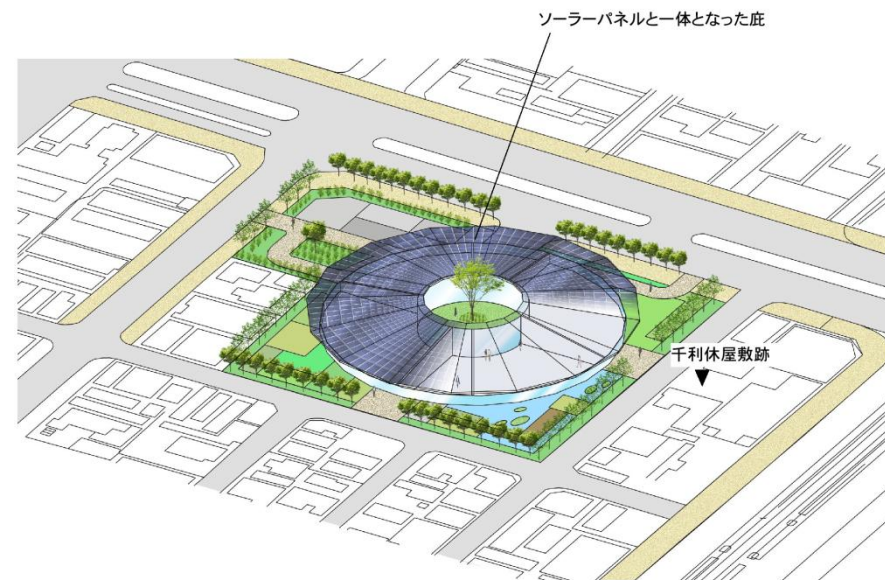
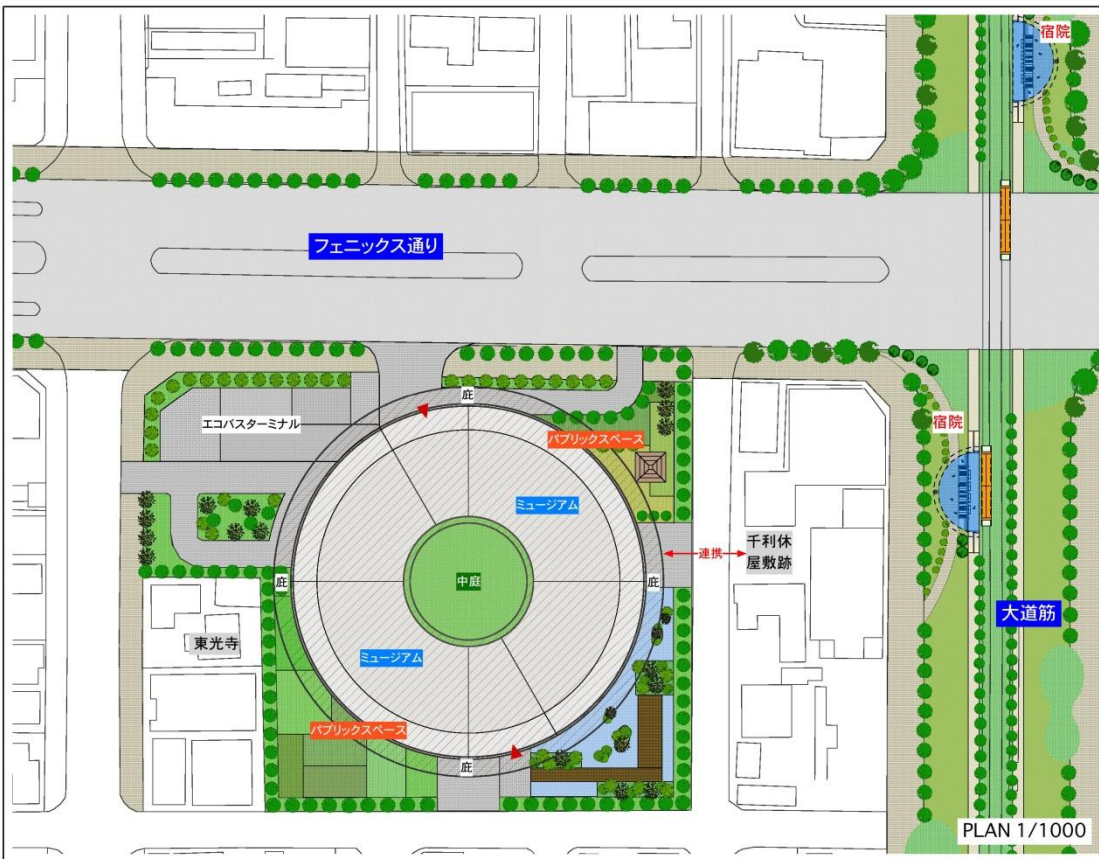
大道筋×大小路筋 - 街路の緑化、公園化、周辺の活性化 計画 -



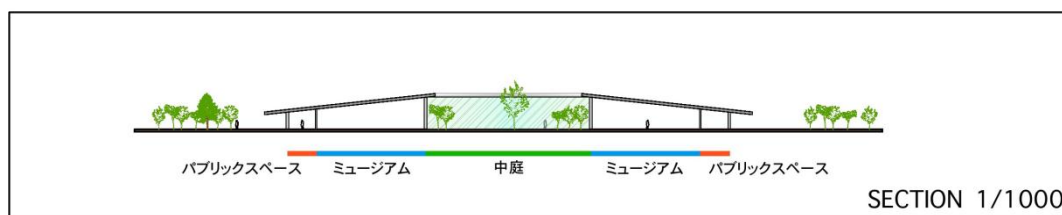
① 大通り緑化にぎわい計画

堺文化村ミュージアム計画

フェニックス通りと大道筋の交差点という立地特性を活かし、新たな都市の拠点となるミュージアム。
堺の歴史・文化・観光・生活の情報を発信し、堺市振興のための『求心力』の創出を目指す。



建物	4573㎡(1383坪)
中庭	707㎡(214坪)
ミュージアム全体	5280㎡(1597坪)



② 路面交通システム再構成計画

人と地球に優しい、新しい路面交通システム

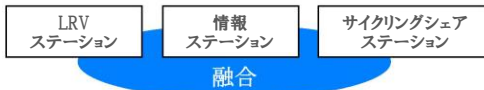
少子化と超高齢化社会に向けて今後車の保有率は下がり、公共交通に頼らざるを得なくなる。特に高齢者、障害者には低床車両(LRV)が必須となる。これは、交通インフラにおける、エイジフリー性の追求＝人に優しい生活の追求、即ち“新しい価値の創造”である。

また、路面電車の電停、その周辺のサイクリングシェア施設の屋根にはソーラーパネルを設置して、新しい路面交通システム全体が、エネルギープラントになる。それらで発電したエネルギーは、駅毎に設置したデジタルサイネージ、電動アシスト自転車の電力など、様々な用途に活用される。

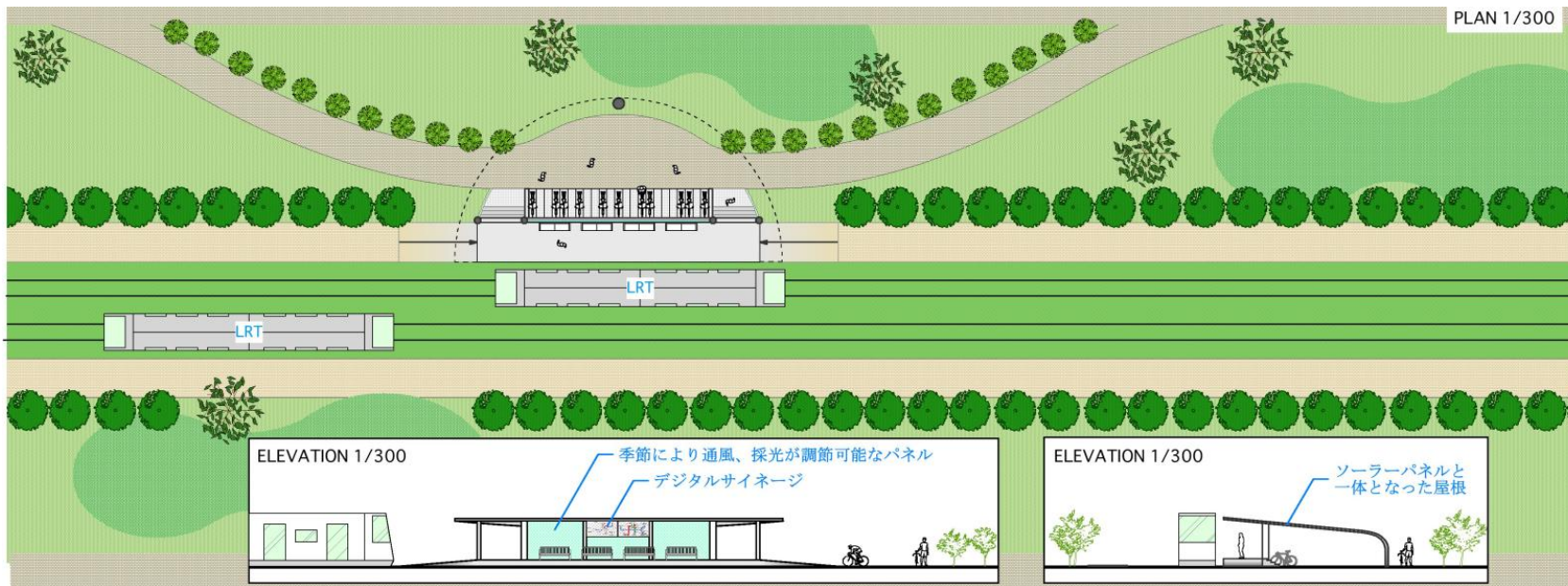
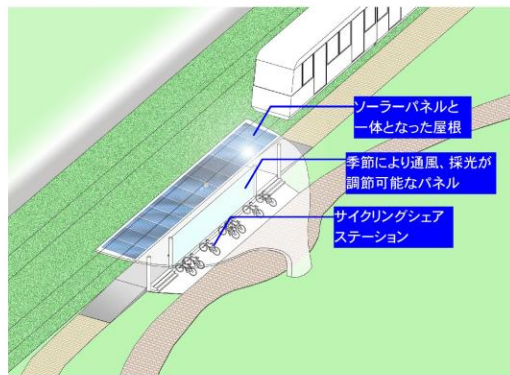


クールシティ堺

環境と共存した暮らし



エリアの新しいランドマーク



③ 既存のサイクルシェア計画からの進化 **④ 自動車規制に伴う道路整備計画**

サイクルシェア進化の具体的プラン

省CO2化と、安心・安全で、「人」中心のまちづくりに欠かせない自転車利用を推進させる計画。

具体的には、現在4カ所あるコミュニティサイクルポートを更に増やし、綾ノ町・宿院・御陵前に設置して、観光拠点を回りやすくする為の整備を実施。
 大道筋車道の1車線を自転車専用道にし、車道との境界にはケヤキを植える。阪堺線の各電停には無料の自転車置き場を設置し、阪堺線を利用しやすくする。
 駐輪場の設置場所は電停の直ぐ隣か、電停直近の歩道脇の花壇を一部撤去した上で砂苔を活用した駐輪場を新設する。

① 自転車走行レーンのペイント

大小路通り、フェニックス通りの歩道に自転車走行レーンをペイントする。また自転車専用であることを20m毎に表示する。目の高さから自転車走行領域と歩行領域を掲示する。



② 大道筋車道 1 車線を自転車専用道に変更

大道筋車道 1 車線を自転車専用道に変更し、一方通行とする。レーンには一方通行の矢印を50m毎に表示する。



③ 自転車道と車道の間の高木を植栽する

夏季における自転車走行中の日射を和らげることと、ヒートアイランドの抑制のために高木の植栽をする。



④ 阪堺線電停に自転車パーキング

阪堺線の利用度を高めるためにパークアンドライドを推進する。電停横の植栽部分を利用し、無料の駐輪場を設ける。車道部分を削減して通路を確保する。



⑤ コミュニティサイクルポートの設置

乗降客の多いターミナル付近にコミュニティサイクルポートを設置する。



⑥ 自転車駐輪ポート

歩道と車道の間で植栽部分を部分的に簡易駐輪ポートとして使えるようにする。



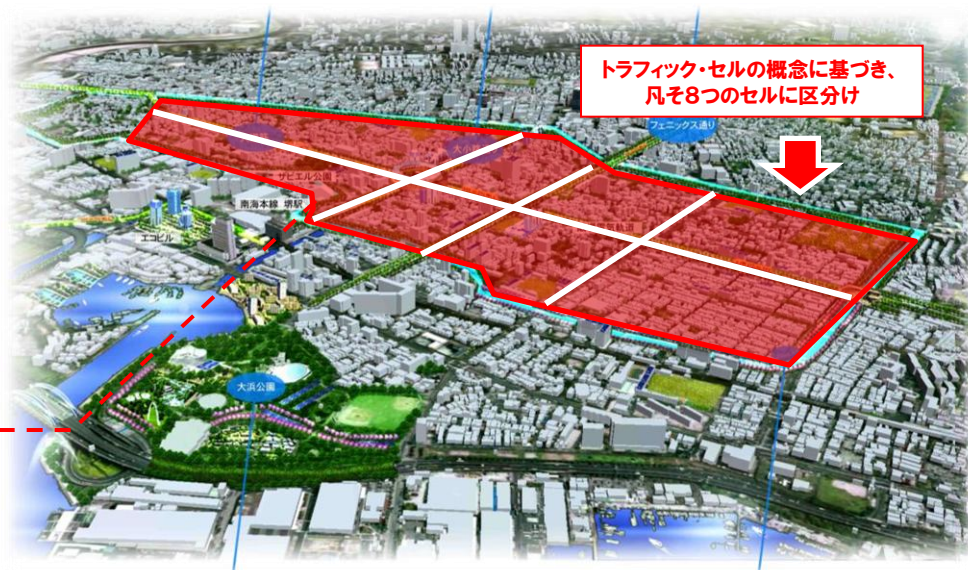
5 自動車規制に伴う駐車場整備計画

スマート化に対応した具体的プラン

省CO2化と、安心・安全で、「人」中心のまちづくりの為に堺市・中心市街地は自動車の通行を規制。それに伴い、公共の駐車場を整備・拡大していく計画。(代替交通手段として、路面交通やサイクルシェアを提供)

EV(電気自動車)に対応した急速充電器を設ける等、都市のスマート化に対応した具体的な駐車場サービスを展開していく。

右のMAP赤枠内の一部は、車両通行禁止/駐車禁止とし、その代わりに公共の有料駐車場を多数設ける。また、歩道の中にブロックごとに荷さばき場を設ける。(※予定)



⑦駅前ロータリーにタクシー用急速充電設備

タクシーの待機場の最も便利な所に電気自動車専用のエリアを設け急速充電装置を設置する。同時に近距離用タクシーとしてiミーブを使用するようタクシー事業者を指導する。



⑨近隣移動の車両は電気自動車に転換する

新築マンションに急速充電装置を設置し、小型の電気自動車でカーシェアリングをする。CT&T社のeZONEを使用。利用可能時間は1時間程度とする。



⑧商業施設の駐車場に急速充電設備

イトーヨーカドー、プラットプラット、高島屋などの駐車場に急速充電装置を設置する。事前に利用者登録をし、携帯電話でロック解除をして充電する。クレジットカードで支払うが、買い物金額に応じて電気代を値引きする。



⑩公用車は全て電気自動車にする

各区役所に急速充電装置を設置し、公用車の更新時にはiミーブに置き換える。ポディーには市民から募った環境標語を掲載して市民の環境意識を高める。

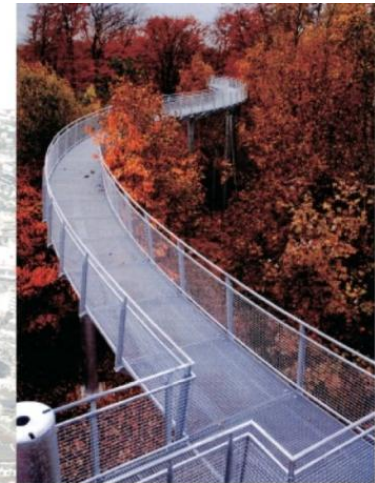


⑥ 世界遺産化に伴う、百舌鳥古墳群・大規模整備計画

⑦ 国際観光都市基盤整備計画

仁徳天皇陵 GRAND DESIGN

ふれあいを通してみんなで作る。世界文化遺産登録推進事業
～百舌鳥・古市古墳群を可視化する～



contents1. 古墳の神秘さと壮大さを可視化する

堺市に多数ある古墳。中でも日本一大きい仁徳天皇陵はその場にあるだけで太古から続く神秘さと壮大さが伝わる。前方後円墳の日本独特の平面が円形と方形の墳丘を組み合わせた「カタチ」を可視化し、全世界後世へ伝えていく価値のあるものではないでしょうか？

contents2. 堺（日本）の文化を知ってもらう

天皇と首相のいる国、ニッポン。墓のカタチ、墓のなりたち、古墳の構造、日本の歴史から、鎌倉時代には漁港として発達し、そして戦国時代へと駆け抜けた文化を継承する街、『堺』を知ってもらいます。

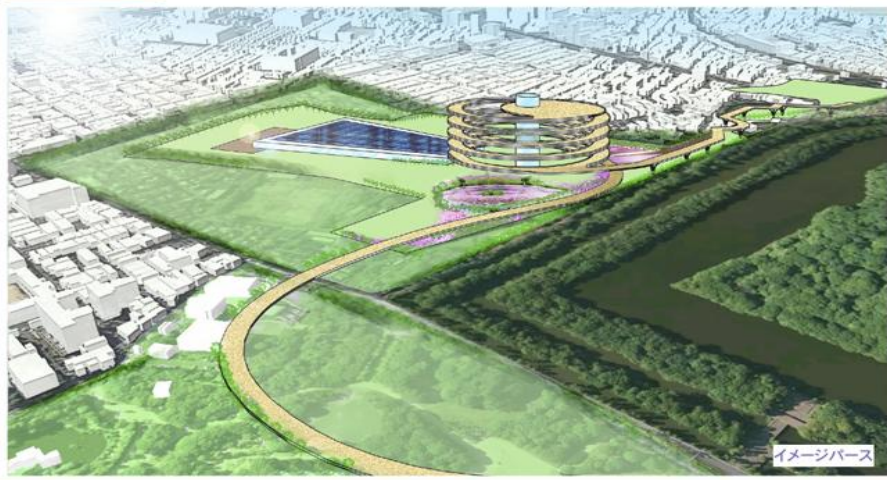
contents3. 環境モデル都市を体感する

全国で13都市しかない環境モデル都市である『堺』の街を体感してもらいます。現在進行形で続いている環境に対する取り組みは、古代からつづく歴史への誇りや伝えていきたい気持ちのあらわれです。



ふれあいを通してみんなでつくる 世界文化遺産登録推進事業
GRAND DESIGN ~ 百舌鳥・古市古墳群を可視化する ~

展望台・博物館 世界一大きい墓である、仁徳天皇陵の周囲を散策しながら古墳の神秘さと壮大さを体感する。



イメージパース

環境に配慮した博物館 イメージ



体感型ミュージアム



SECTION S=1/600

百舌鳥古墳群を体感する 展望台とハイルイン遊歩道

360°見渡せる展望台と、スロープで高低差をつけたハイルインによりあらゆる角度から百舌鳥古墳群を見渡すことが出来る。

展望台

SECTION S=1/600

10000

25000

6500

